

## クラブ訪問

218

「日々、作品と向き合って」

### 玉造中学校美術部

私たち玉造中学校美術部は、1年生9人、2年生7人、3年生6人の計22人で、平日の放課後、土曜日に美術室で活動しています。

4～7月は、作品展に出品するための個人制作に取り組みます。水彩画や粘土、彫刻などから自分が興味のあるものを選ぶことができ、初めて挑戦するジャンルでも先生が丁寧に指導してくれます。

夏以降は、学校行事の横断幕や、中学校の裏にあるトンネルの壁一面に絵を描く壁画制作といった、みんなで一つの物を作り上げる作品に取り組みます。

体育祭で使う横断幕は、サッカーゴールほどの大きさの布に絵の具でスローガンを描きます。1年生にとっては初めての大きな作品になるので、先輩がアドバイスしながら一緒に作業します。

壁画制作では、昨年は33メートルあるトンネルに海の生き物を描きました。夏の暑い中での作業が多いため集中するのが大変ですが、出来上がったときは大きな達成感が得られます。また、みんなで協力して作り上げるので部員の仲が深まります。

部の目標は印旛郡市中学校美術部展で最優秀賞を取ることです。昨年は3人が優秀賞を受賞することができました。今年も納得のいく物が作れるまで作品と向き合っていきます。



勢司 美琴 部長(3年生)

美術部展に出展する油絵を描いています。昨年、優秀賞を受賞したときは喜びのあまり泣いてしまいました。



慎重に描き進める



流木を使った彫刻

# なかまと一緒に

「地道な努力で美しい作品を」

215

## 浮書絵彫会

私たち<sup>うきしよえぼり</sup>浮書絵彫会は、毎月第2火曜日と第4水曜日に久住公民館で活動しています。

浮書絵彫は、竹の表面に水墨画や浮世絵を描き、色付けと彫刻によって立体的に表現する伝統工芸です。

色付けは、茶粉という暗褐色の塗料と墨で行います。それぞれの濃淡の加減だけで何種類もの色を表現することができます。



浮書絵彫の魅力を多くの人に

彫刻でも、刃の使い方が次第で、表面を削って薄い色を出したり、刃の角で傷をつけて髪の毛の流れを出したりといった表現ができます。自分のやり方で上手くいかないときは、仲間や先生にアドバイスをもらいます。

表現の幅を広げるためには、仲間や先生とのコミュニケーションは欠かせません。活動中は技術的なことを中心にさまざまな話をします。この時間がとても有意義で、制作よりもメインになることもあります。

また、ほかの人の作品を見ることも勉強になります。特に、先生の作品は難しい手法が使われているので参考にしています。しかし、先生と同じ手法に挑戦してみても、自分の技術では表現しきれず、地道な努力の大切さを実感しています。

そんな私たちも、制作を続けるうちに、友人や家族に出来が良くなったと言われるようになりました。それを励みに、これからもコツコツと続けていきたいです。

私たちの作品は、8月18日～9月7日に中央公民館で展示します。たくさんの人に見てもらい、魅力を知ってもらいたいと思います。



絵を際立たせるように彫刻



下絵は構図が大事



すけがわ まなと 祐川 真翔くん(5歳・右) 久住中央・まさき 真輝くん(3歳・左)・いちか 一花ちゃん(1歳・中)

三人仲良く助け合って大きくなってね♥



ひさすえ りっか 久末 六花ちゃん(2歳)江井須

りっちゃん元気いっぱい大きくなってね!!

# スクスクのびのび

477

このコーナーには市内在住で5歳までのお子さんの写真を掲載しています。お気に入りの1枚が撮れましたら、ぜひお寄せください。

- 応募方法 お子さんの写真・住所・氏名(ふりがな)・生年月日・性別、親の名前、電話番号、30字程度コメントを郵送またはEメールで広報課へ
- 応募先 〒286-8585 花崎町760 成田市役所広報課
- 問い合わせ koho@city.narita.chiba.jp (写真データはJPEGで容量1MB以上で送ってください) 広報課 ☎20-1503